



## 2019 年度末における信用金庫の出資会員数の増減状況 ～トピックス～出資会員向け優遇サービスの例～

### 視点

2019 年度末の信用金庫の出資会員数（企業・個人）は、人口減少などを受け 4 年連続で前期を下回り、913.7 万人となった。所在不明会員の除名もあり、今後も出資会員数の減少傾向は続くと予想される。ただし、協同組織金融機関である信用金庫が経営基盤を安定させるためには、出資会員数の維持・増強は不可欠だと考えられる。こうしたなか出資会員向け優遇サービスを導入し、出資会員に対するメリットの提供および利用促進を図る信用金庫がある。

そこで本稿では、2019 年度末における信用金庫の出資会員数の増減状況を確認するとともに、主な出資会員向け優遇サービスを紹介する。

### 要旨

- 2019 年度末の信用金庫の出資会員数は、前期から 0.6% 減少の 913.7 万となった。4 年連続で前年度を下回って推移している。
- 2019 年度末の地区別の出資会員数は、全 11 地区で前期から減少した。なかでも北陸と東京は 1 年間で 1.0% 超の減少となる。
- 2009 年度末から 2019 年度末までの信用金庫別の出資会員数は、増加金庫数と減少金庫数がほぼ拮抗している。
- 主な出資会員向け優遇サービスとして、ATM 手数料や振込手数料の優遇が挙げられる。その他には、金利優遇や出資会員専用のセミナー開催事例などもある。

### キーワード

出資会員数、普通出資金、出資会員向け優遇サービス、手数料の優遇

※本稿における信用金庫事例は、公表資料をもとに作成している。

目次

はじめに

1. 信用金庫の出資会員数の推移

(1) 全国の状況

(2) 地区別・預金規模別の状況

(3) 信用金庫別の状況

2. トピックス～出資会員向け優遇サービスの例～

おわりに

はじめに

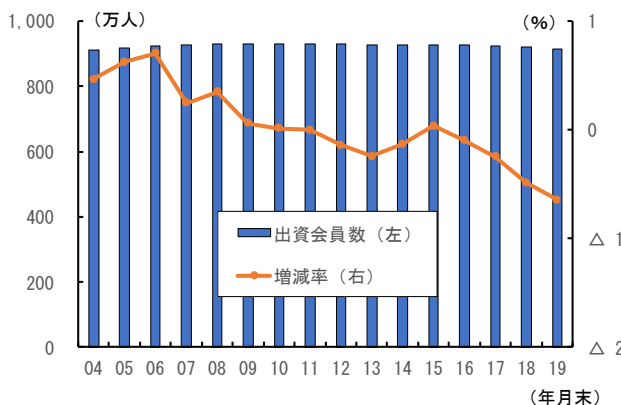
2019年度末の信用金庫の出資会員数(企業・個人)は、人口減少などを受け4年連続で前期を下回り、913.7万人となった。所在不明会員の除名もあり、今後も出資会員数の減少傾向は続くと予想される。ただし、協同組織金融機関である信用金庫が経営基盤を安定させるためには、出資会員数の維持・増強は不可欠だと考えられる。こうしたなか出資会員向け優遇サービスを導入し、出資会員に対するメリットの提供および利用促進を図る信用金庫がある。

そこで本稿では、2019年度末における信用金庫の出資会員数の増減状況を確認するとともに、主な出資会員向け優遇サービスを紹介する。

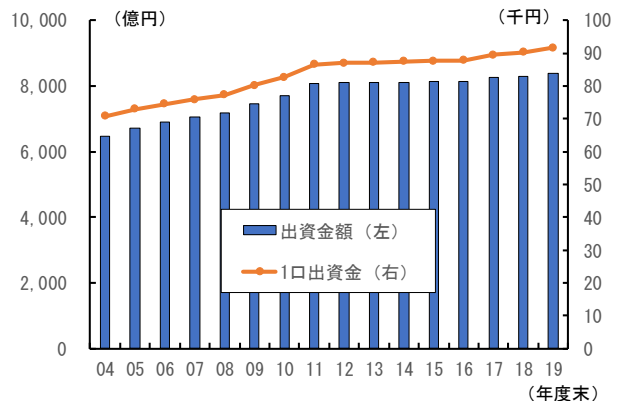
1. 信用金庫の出資会員数の推移

(1) 全国の状況

(図表1) 出資会員数の推移



(図表2) 出資金額の推移



- (備考) 1. 本稿では、他業態との合併等を考慮していない。  
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計が100に一致しない場合がある。  
 3. 出資金額には優先出資を含む。  
 4. 図表1～6まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2019年度末の信用金庫の出資会員数は、前期比0.6%、5.9万人減少の913.7万人となった(図表1)。信用金庫の出資会員数は、人口減少に加え、所在不明会員の除名<sup>1</sup>などから減少傾向にあり、4年連続で前年度末を下回った。また、2004年度末との比較だと微増(0.03%増)となる。

2019年度末の出資金額は、前期比0.9%増加の8,382億円となった(図表2)。2004年度末からは29.5%増加しており、出資金額および1人あたりの出資金額ともに増加傾向が続いている。

## (2) 地区別・預金規模別の状況

### ① 地区別

2019年度末の地区別の出資会員数は、全11地区で前期を下回った(図表3)。なかでも東京の増減率がマイナス1.0%を超え、また増減数でも1.7万人の減少を示す。2004年度末との比較では、東海、四国などの6地区で出資会員数が増加し、東京、北海道などの5地区は減少した。増加した地区では東海の8.3%増が、減少した地区では東京の9.3%減が、それぞれ目立つ。

(図表3) 地区別の出資会員数

(単位:人、億円)

| 地区   | 04年度末     |        |       | 09年度末     |        |       | 18年度末     |        |       | 19年度末     |        |       |
|------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|
|      | 会員数       | 1金庫あたり | 出資金額  | 会員数       | 1金庫あたり | 出資金額  | 会員数       | 1金庫あたり | 出資金額  | 会員数       | 1金庫あたり | 出資金額  |
| 北海道  | 461,536   | 18,461 | 181   | 470,778   | 20,468 | 197   | 460,848   | 23,042 | 223   | 456,244   | 22,812 | 221   |
| 東北   | 611,271   | 17,978 | 298   | 627,827   | 23,252 | 430   | 616,530   | 22,834 | 749   | 610,393   | 22,607 | 749   |
| 東京   | 1,596,683 | 63,867 | 2,189 | 1,580,390 | 68,712 | 2,421 | 1,464,287 | 63,664 | 2,584 | 1,446,961 | 62,911 | 2,654 |
| 関東   | 1,789,507 | 35,088 | 1,374 | 1,819,534 | 37,133 | 1,709 | 1,815,873 | 37,058 | 1,723 | 1,810,813 | 36,955 | 1,716 |
| 北陸   | 321,200   | 16,905 | 107   | 316,828   | 17,601 | 109   | 302,232   | 18,889 | 195   | 298,083   | 18,630 | 194   |
| 東海   | 1,507,018 | 36,756 | 593   | 1,583,264 | 40,596 | 641   | 1,643,631 | 45,656 | 678   | 1,632,444 | 48,013 | 675   |
| 近畿   | 1,468,222 | 44,491 | 1,202 | 1,499,802 | 46,868 | 1,340 | 1,473,965 | 50,826 | 1,435 | 1,466,686 | 50,575 | 1,437 |
| 中国   | 558,617   | 19,950 | 195   | 573,320   | 26,060 | 215   | 562,822   | 26,801 | 264   | 561,139   | 28,056 | 272   |
| 四国   | 205,742   | 18,703 | 69    | 211,092   | 21,109 | 76    | 221,523   | 22,152 | 92    | 220,932   | 22,093 | 94    |
| 九州北部 | 207,249   | 14,803 | 76    | 213,957   | 16,458 | 96    | 217,265   | 16,712 | 94    | 216,967   | 16,689 | 94    |
| 南九州  | 381,055   | 23,815 | 171   | 394,190   | 26,279 | 219   | 391,414   | 27,958 | 250   | 390,149   | 30,011 | 260   |
| 全国   | 9,134,192 | 30,651 | 6,471 | 9,317,116 | 34,254 | 7,468 | 9,197,080 | 35,509 | 8,304 | 9,137,735 | 35,834 | 8,382 |

(備考) 沖縄県は全国に含む。

### ② 預金規模別

2019年度末の1金庫あたり出資会員数は3.5万人となり、2004年度末から16.9%増えている。2019年度末の出資会員数を預金規模別で比較すると、「1,000億円未満」階層の0.8万人から「1兆5,000億円以上」階層の12.6万人まであり、預金規模と出資会員数の間には正の相関関係がみられる。

<sup>1</sup> 2014年の信用金庫法施行規則の改正により除名が可能となった。

### (3) 信用金庫別の状況

#### ① 構成比

2019 年度末の信用金庫別の出資会員数は、(イ)1.5 万人未満が 72 金庫（構成比 28.2%）、(ロ)1.5 万人以上 2.5 万人未満が 66 金庫（25.8%）、(ハ)2.5 万人以上 5.5 万人未満が 68 金庫（26.6%）、(ニ)5.5 万人以上は 49 金庫（19.2%）となった（図表 4）。

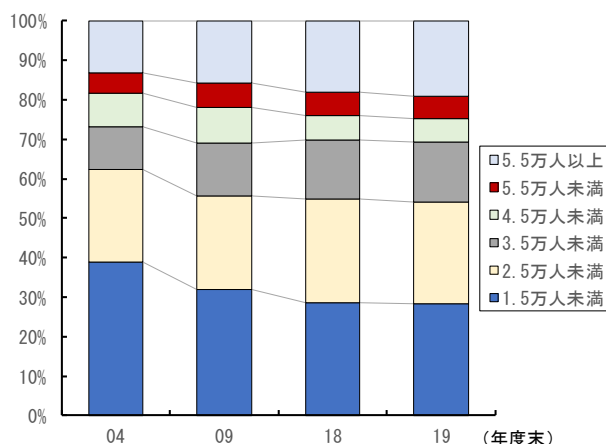
2004 年度末の構成比と比較すると、1.5 万人未満の構成比が 38.9%（116 金庫）から 28.2%（72 金庫）まで低下している。その一方で、5.5 万人以上の割合は、13.0%（39 金庫）から 19.2%（49 金庫）に上昇した。

#### ② 増減数（2009 年度末との比較）<sup>2</sup>

2009 年度末から 2019 年度末までの信用金庫別の出資会員数の増減状況は、(イ)増加が 119 金庫（構成比 46.6%）、(ロ)減少は 136 金庫（53.3%）となった（図表 5）。このうち、20%以上の増加が 7 金庫、20%以上の減少は 1 金庫、それぞれあった。

参考までに同期間に合併した信用金庫（合併金庫）と、合併をしていない信用金庫（非合併金庫）に分けて出資会員数の変化を比較してみた（図表 6）。結果は、全体の増減率が 1.9%の減少だったのに対し、合併金庫の出資会員は 3.3%の減少となった。また、非合併金庫では 1.7%の減少に留まっており、合併の有無で出資会員数の増減に影響が生じたと推察される。

(図表 4) 信用金庫別の出資会員数（構成比）



(図表 5) 信用金庫別の増減状況

(09 年度末→19 年度末)

(単位：金庫、%)

| 分類      | 金庫数 | 構成比   |
|---------|-----|-------|
| 増加      | 119 | 46.6  |
| 20%以上増加 | 7   | 2.7   |
| 10%以上増加 | 23  | 9.0   |
| 10%未満増加 | 89  | 34.9  |
| 増減なし    | 0   | 0.0   |
| 減少      | 136 | 53.3  |
| 10%未満減少 | 108 | 42.3  |
| 10%以上減少 | 27  | 10.5  |
| 20%以上減少 | 1   | 0.3   |
| 全 国     | 255 | 100.0 |

(図表 6) 合併・非合併別の増減状況

(09 年度末→19 年度末)

(単位：%、金庫)

| 分類    | 増減率   | 金庫数 |
|-------|-------|-----|
| 合併金庫  | △ 3.3 | 14  |
| 非合併金庫 | △ 1.7 | 241 |
| 全 国   | △ 1.9 | 255 |

<sup>2</sup> 合併調整の関係で 2009 年度末と比較した。

## 2. 出資会員向け優遇サービスの例

協同組織金融機関である信用金庫が経営基盤を安定させるためには、出資会員数の維持・増強が不可欠である。株式会社における保有株式数に応じた優待の概念は協同組織金融機関に存在しない。こうしたなか、会員向け優遇サービスを導入し、出資会員に対するメリットを提供する信用金庫がある。出資金の配当以外の優遇を出資会員に提供することで、信用金庫の利用を促し、出資会員と信用金庫との間で取引の密着度合を高める狙いがある。出資会員を増強する際のPRポイントにもなり得る。

主な出資会員向け優遇サービスを挙げると、①手数料の優遇、②金利の優遇、③ポイントサービスへの適用、④セミナー等への招待などがある<sup>3</sup>。出資会員向け優遇サービスとは異なるが、⑤出資会員対象にアンケート調査を行い、自金庫の経営改善に取り組む信用金庫もある。

なお、自金庫の出資会員の満足度向上および新たな出資会員を増やすべく優遇サービスの拡充に取り組む信用金庫がある一方で、金庫全体の商品・サービス提供を再構築するなかで出資会員向け優遇サービスのあり方を見直す信用金庫もある。

主な優遇事例は以下のとおりである。

### ・ 手数料の優遇例

- ✓ 自金庫ATMの時間外手数料を優遇する。
- ✓ ATM手数料のキャッシュバックを行う（上限あり）。
- ✓ ATMやインターネットバンキングによる振込手数料を優遇する。

### ・ 金利の優遇例

- ✓ 出資会員専用の金利上乗せ預金商品を取り扱う。
- ✓ 出資会員は預金商品の利率を上乗せする。
- ✓ 出資会員については個人ローン金利を引き下げる。

### ・ ポイントサービスへの適用例

- ✓ ポイントサービスの適用項目に出資会員であることを盛り込む。

### ・ セミナー等への招待例

- ✓ 出資会員向けのセミナーに招待する。
- ✓ 出資会員を対象とする顧客組織を設ける（入会の項目とする）。

<sup>3</sup> 各信用金庫のホームページ、ディスクロージャー誌で確認した。

・ 出資会員向けアンケートの実施例

- ✓ 出資会員を対象とするアンケート調査を年1回実施し、自金庫の経営改善の参考とする。直接のメリット提供ではないものの、出資会員の要望や課題を改善することで満足度を高める狙いがある。

**おわりに**

人口の高齢化・減少、さらには地方から都市部への人の移動などにより、近年、信用金庫の間で出資会員数の減少が目立ち始めた。信用金庫を取り巻く経営環境などを勘案すると、出資会員数は今後も緩やかに減少していくと予想される。

協同組織金融機関である信用金庫は、地元からの出資があってこそ成り立つ存在であることから、出資配当と内部留保のバランスや、優遇サービスの水準のあり方について、出資会員および出資会員以外の顧客の両方が納得するような最適解を目指す必要がある。また、出資会員制度の仕組みや意義について、業界を挙げて幅広くPRし、信金ファンを増やしていくことも大切だと考える。

以 上  
とね かずゆき  
(刀禰 和之)

〈参考資料〉

- ・ 信用金庫のホームページ、ディスクロージャー誌

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。投資・施策実施等についてはご自身の判断によってください。

【バックナンバーのご案内：金融調査情報】（2020年度・第2四半期）

| 号 数     | 題 名   | 発行年月    |
|---------|---|---------|
| 2020-16 | 信用金庫の多面的評価制度の導入 -経営戦略 39-                                 | 2020年7月 |
| 2020-17 | 信用金庫の人事制度改革への取組み -経営戦略 40-                                | 2020年7月 |
| 2020-18 | 信用金庫の「渉外センター制度」への取組み                                      | 2020年8月 |
| 2020-19 | 信用金庫の債権書類管理の集中化動向   | 2020年8月 |
| 2020-20 | 2019年度末における信用金庫の預金残高の増減状況<br>-トピックス～ネット支店（非対面取引支店）の出店動向～- | 2020年8月 |
| 2020-21 | 2019年度末における信用金庫の常勤役職員の増減状況<br>-トピックス～ベテラン層職員の活躍拡大策～-      | 2020年8月 |
| 2020-22 | 2019年度末における信用金庫の出資会員数の増減状況<br>-トピックス～出資会員向け優遇サービスの例～-     | 2020年8月 |
| 2020-23 | 2019年度末における信用金庫の店外ATMの設置状況<br>-トピックス～地域銀行の取組事例～-          | 2020年8月 |
| 2020-24 | 2019年度末における信用金庫の個人預金口数の増減状況<br>-トピックス～未利用口座管理手数料の導入状況～-   | 2020年8月 |

\*バックナンバーは信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページを参照ください。

## 信金中央金庫地域・中小企業研究所 活動状況 (2020年7月実績)

### ○レポート等の発行状況

| 発行日     | レポート分類     | 通巻      | タイトル  |
|---------|------------|---------|---|
| 20.7.3  | 内外金利・為替見通し | 2020-4  | 日銀は「新型コロナ対応」の効果を見極めるべく、当面は様子見姿勢を保とう                                   |
| 20.7.6  | 金融調査情報     | 2020-16 | 信用金庫の多面的評価制度の導入－経営戦略 39－  |
| 20.7.6  | 金融調査情報     | 2020-17 | 信用金庫の人事制度改革への取組み－経営戦略 40－   |
| 20.7.9  | ニュース&トピックス | 2020-30 | コロナ危機の資金繰り支援で急増が続く信用金庫の貸出金－6月末の貸出金は5.1%増と1992年10月以来の高い伸び－             |
| 20.7.14 | ニュース&トピックス | 2020-31 | 中小企業の経営を一変させた新型コロナウイルス－全国中小企業景気動向調査の結果から－                             |
| 20.7.15 | 中小企業景況レポート | 180     | 4～6月期業況は急速に悪化、リーマンショック時を超えて過去最悪水準【特別調査－新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について】 |
| 20.7.20 | 内外経済・金融動向  | 2020-2  | 新型コロナ発生後の個人消費の動向と見通し－感染拡大への懸念がくすぶるなか、サービス関連を中心に低迷が続く－                 |
| 20.7.27 | ニュース&トピックス | 2020-34 | 業種別にみた信用金庫の資金繰り支援－新型コロナの影響で飲食業、宿泊業、サービス関連で高い伸び－                       |
| 20.7.28 | 産業企業情報     | 2020-4  | 中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響②－業況の急激な悪化の一方、新しい取組みも－                  |

### ○講演等の実施状況

| 実施日     | 講演タイトル                        | 主催        | 講演者等 |
|---------|-------------------------------|-----------|------|
| 20.7.13 | 信用金庫の社会的使命と役割                 | 全国信用金庫研修所 | 松崎英一 |
| 20.7.15 | 中堅管理者としての社会・経済情勢の観方・捉え方       | 全国信用金庫研修所 | 刀禰和之 |
| 20.7.19 | 新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について | 日本中小企業学会  | 品田雄志 |

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03-5202-7671 (ダイヤルイン) FAX: 03-3278-7048

e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp

URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/> (信金中央金庫)

<https://www.scbri.jp/> (地域・中小企業研究所)